

## 「市民講座」等開催のご案内

▼日本銀行本店では、十月三十一日(日)～十一月二日(火)、四日(木)、五日(金)に、毎年恒例となっております。お申し込みは、「休日市民講座」「休日本店見学ツアー」「企画展」のほか、「市民講座+本店本館の地下金庫見学ツアー」(昨年は十二月に開催)を開催いたします。

なお、十二月の市民講座の開催予定はございません。

「市民講座」では、わが国のお金の歴史や、国の重要文化財に指定されている本店本館の建物などをテーマに、本行関係者が詳しくご説明させていただきます。

また、「見学ツアー」では、一〇〇年以上使用された旧地下金庫をはじめ、建物内部をご覧いただき、その歴史や業務内容についてご説明いたします。見学ツアーは、通常平日のみ開催しておりますが、今回は特別に十月三十一日(日)にも行います。奮ってご参加ください。

公開時間内であれば、企画展は

ご自由にご来場いただけますが、

見学ツアーと市民講座は、事前予約が必要となります。申し込み方法など詳細は日本銀行HPをご覧ください。<http://www.boj.or.jp/>

【会場】日本銀行本店

(東京都中央区日本橋本石町)

【お問い合わせ先】

日本銀行情報サービス局

総務企画グループ

〇三―三三二七―二五六八

## 阪神・淡路大震災

### 一五年特別企画

▼日本銀行神戸支店では、本年一月に阪神・淡路大震災から一五年の節目の年を迎えたことに伴い、今年一年を通じ、当時の貴重な経験や教訓を風化させないための取り組みを行っています。

主な取り組みとしては、震災当時の関係者から、後輩や後世に伝えたい震災時の経験や教訓、一五年前を振り返って改めて感じる思いなどについて、寄稿いただいた「随想録」をホームページ(<http://www3.boj.or.jp/kobe/>)に掲載

しています。七月には「夏休み親子見学会」を開催し、損傷銀行券の引換業務の疑似体験など、特別企画として「震災当時に果たした日本銀行の役割」について学んでいただきました。

また、十一月には神戸市内の「人と防災未来センター」において、震災当時の対応状況などの様子を紹介するパネル展(無料)を開催する予定としています。ぜひお立ち寄りください。

## 「人と防災未来センター」

【開館時間】九時三十分～十七時三十分(入館は十六時三十分まで)

※休館日等詳細はHPをご覧ください。<http://www.dri.ne.jp/>

【場所】神戸市中央区脇浜海岸通 一―五―二

## 貨幣博物館 特別展

### お財布のかたちとおしゃれ

#### ―江戸・明治期の袋物から―

▼貨幣博物館では、特別展「お財布のかたちとおしゃれ」を開催しています(十一月二十一日まで)。

財布は、お金のかたちや生活・文化に合わせて、変化してきました。江戸時代から明治時代にかけて財布として使用された袋物ふくろものや、財布が描かれた錦絵きんゑをご紹介します。財布にはビロードや更紗さらさなどの織物や、革などを素材として利用し、前金具や鎖など細部までこだわりのある、おしゃれなものもありました。

当館所蔵のさまざまな袋物と錦絵を通して、財布にまつわる当時



写真提供：人と防災未来センター

さまざまなお財布



の文化や流行について感じていた  
 だければ幸いです。  
**【開館時間】** 九時三十分～十六時  
 三十分（入館は十六時まで）  
 ※休館日等詳細は貨幣博物館HP  
 をご覧ください。

<http://www.imes.boj.or.jp/cm/>

**【入館料】** 無料

**【場所】** 東京都中央区日本橋本石町  
 一—三—

**【お問い合わせ先】**

〇三—三二七—三〇三七

**親子で楽しく学べる  
 体験型イベント  
 「金融教育フェスティバル」を  
 全国七カ所で開催中**

▼金融広報中央委員会（事務局：日本銀行情報サービス局内）は、金融や経済の基礎を楽しく学べる体験型イベント「金融教育フェスティバル」を、今年度中に全国七カ所で開催します（うち二カ所は開催済み）。

**【開催の目的】**

子供から大人まで幅広い年齢層の方々に、金融教育に関して興味を持ち、理解を深めていただく機会を提供することを目的として開催します。

**【プログラム】**

**①暮らしに役立つ講演会**

金融・経済に造詣の深い有識者を講師に迎え、金融知識や金融教育をテーマとする講演会を行います（東京では、有識者数名によるパネルディスカッションを予定）。



住田裕子氏



村千鶴子氏

講師：住田裕子氏（弁護士）×村千鶴子氏（弁護士・東京経済大学学教授）……鳥取／宇都宮健児氏（弁護士）×荻原博子氏（経済ジャーナリスト）×中島隆信氏（慶應義塾大学商学部教授・慶應義塾大学博士（商学）……東京／細野真宏氏（Iosono's Super School代表）……北海道／山田真哉氏（公認会計士・税理士）×蟹瀬誠一氏（国際シ



宇都宮健児氏



荻原博子氏



中島隆信氏

ジャーナリスト・明治大学国際日本学部長）……岡山／養老孟司氏（東京大学名誉教授）……千葉  
 対象：一般

## 編集後記

■これまでの仕事では、論理の展開が最も重要との認識の下で、因果関係や文脈、段落ごとのバランスなど言葉を連ねた後の文や文章の単位での表現の工夫に意を用いることが多かった。しかしながら、紙幅の制約の多い広報誌の編集作業では、同じ内容を表現するにしても、より端的に内容を表現する言葉を探すがまず重要となる。同時に、論理は最上の武器ではなくなり、必ずしも論理的でなくとも想定される読者の共感を得ることができるかどうかが決定的に重要となる。論理よりも感性、フィーリング、時代の空気といったものが重視されることになる。だが、果たしてこれでいいのか？ 言葉を厳選することは必要だとしても、論理の軽視ともいえる現象には必ずしも納得できない。世の軽薄化は雑誌の普及が進んだため？ もう少し見極めたい。(大川)

■今回訪れた豊後高田市の昭和の町では、懐かしい時代への時間旅行が楽しめます。商店街ではレトロな看板を掲げた店先で、人情味あふれる買い物を楽しむことができました。「駄菓子屋の夢博物館」には昔懐かしいおもちゃ、レコード等、数万点が所狭しと並んでおり、その光景は圧巻でした。自分が幼かったころ、夢中になって遊んだおもちゃにも再会できました。ドーナツ盤のレコードがCDに変わり、今ではインターネットで簡単にダウンロードできる時代。情報社会でストレスを感じたら、この町を訪れ、優しく懐かしい昭和の思い出に癒やされてみてはいかがでしょうか。(MK)

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDF ファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。  
(<http://www.boj.or.jp/type/pub/nichigin.htm>)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解については、日本銀行ホームページ (<http://www.boj.or.jp/>) をご覧ください。

にちぎん 2010年秋号  
編集・発行人 大川昌利  
発行 日本銀行情報サービス局  
〒103-8660  
東京都中央区日本橋本石町 2-1-1  
☎ 03-3277-2405

デザイン 株式会社市川事務所  
印刷 株式会社美松堂  
©日本銀行情報サービス局 禁無断転載

※本誌の用紙は、環境・社会・経済のすべての側面に配慮した厳しい基準に従って適切に管理された森林からの木材を原料としていることを示す、FSC 認証紙を使用しています。

## ② 教員向けセミナー

〈東京を除く六会場〉

教育現場での金融教育実践をテーマに、講話、実践報告、参加型ワークショップ等を行います。

対象…教員、教職を目指す大学生・大学院生

## ③ 親子のためのおかねの広場

テレビなどで人気の「豆しば」のステージショーなど、楽しく学べるイベントを行います。

○キャラクターショー「豆しばと



© DENTSU INC. キャラクターショーに登場する「豆しば」

おかねのことを学ぼう」

○おかねの仕事体験「中央銀行業

## 務体験「カレー作りゲーム」

○貯金箱作りコーナー、おかねクイズ、おかねについて学ぶコーナー

対象…小学生・保護者

## ④ 協力団体講師等による金融教育セミナー

〈東京・北海道・岡山・千葉〉

当委員会の関係・協力団体の講師が、金融・経済・教育に関するセミナーを開催します。

このほか、金融教育に関する資

料を提供するコーナーを設置します。

【申込方法】原則事前申込制です。

開催の約二カ月前より、インターネット、電話、FAX、郵送で受け付けます。詳しくは、公式サイトをご覧ください。

<http://www.festival2010.jp/>

【今後の開催日程】米子市（十月九日）、東京都（十一月六日）、札幌市（十一月二十日）、岡山市（十二月二十三日）、千葉市（二十三年一月八日）